

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 高砂鐵工株式会社
 コード番号 5458 URL <http://www.takasago-t.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 保
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 畑田 正樹
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL 03-5399-8111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,441	—	△204	—	△234	—	△912	—
20年3月期第1四半期	9,595	26.1	607	468.8	576	723.3	327	494.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△30.36	—
20年3月期第1四半期	10.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	25,717	—	3,542	—	13.0	—	111.34	—
20年3月期	27,661	—	4,558	—	15.7	—	144.56	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,345百万円 20年3月期 4,344百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	3.00	3.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期連結累計期間	17,500	—	△150	—	△250	—	△950	—	△31.61	—
通期	35,000	△4.1	350	△58.1	150	△76.5	△650	—	△21.63	—

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 30,080,000株 20年3月期 30,080,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 28,683株 20年3月期 28,083株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 30,051,617株 20年3月期第1四半期 30,053,593株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成20年4月28日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも本資料において修正しております。
- 本資料における予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、原油をはじめとする資源・エネルギー価格高騰による企業収益の圧迫、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界経済の減速懸念など内外の環境が厳しさを増す中で、先行きの不透明感が強まる状況となりました。

このような経済状況のもとで、当社グループの主要事業である鉄鋼製品事業においては、前期上半期半ば以降のニッケル原料価格の急落に伴い、製品販売価格の下落や買い控え、流通段階での在庫調整の動きなどステンレス部門を取り巻くマーケット環境が激変いたしました。今期に入っても、ニッケル原料価格はじり安傾向が続く一方、鉄鋼原料やクロム鉱石等は大幅に上昇する等、厳しいマーケット環境が継続しております。その結果、製品販売価格の改定、並びに前期増加した在庫の削減も遅れ気味で推移したため、損益は大きく落ち込みました。

また、モーターサイクル関連部品事業においても主力とする米国市場においてサブプライムローン問題による景気の後退、ガソリン高の影響を大きく受け、チェーン、リムともに需要が激減、売上高が低迷し採算が大幅に悪化いたしました。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は8,441百万円（前年同期比12.0%減）、営業損失204百万円（前年同期営業利益607百万円）、経常損失234百万円（前年同期経常利益576百万円）となり、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴う期首の簿価切り下げ額等の特別損失が加わり、四半期純損失は912百万円（前年同期四半期純利益327百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産総額は25,717百万円となり、前連結会計年度末より1,943百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金及び製品・仕掛品・原材料他のたな卸資産等の流動資産の減少によるものです。

負債総額は22,175百万円となり、前連結会計年度末より927百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金等の流動負債の減少によるものです。

純資産につきましては、3,542百万円となり前連結会計年度末より1,015百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想数値の当四半期における修正の詳細は、平成20年7月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出においては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③経過勘定項目の算定方法

一部合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④固定資産の減価償却費の算定方法

一部子会社において合理的な予算制度を利用して減価償却費の算定を行っております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計処理基準等の改正に伴う変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ161百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は、422百万円減少しております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

② ①以外の変更

従来、親会社の製品、仕掛品及び原材料の評価基準及び評価方法について半期別総平均法に基づく原価法を採用しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より月次総平均法に基づく原価法に変更いたしました。

この評価方法の変更は、昨年来、主要原材料であるニッケル原料価格が乱高下し、その後も不安定な動きを続けておりますが、この市場価格の変動を売上原価並びにたな卸資産の貸借対照表価額に適切に反映させることで、財政状態及び経営成績をより適正に表示するために、四半期決算制度の導入時期に合わせて行なったものであります。

この変更により、従来と同一の方法によった場合と比較して、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ39百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,919	1,816
受取手形及び売掛金	6,186	6,684
商品	276	308
製品	3,243	3,522
原材料	1,419	1,892
仕掛品	2,827	3,335
貯蔵品	231	235
その他	1,032	1,022
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	17,130	18,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,419	2,439
機械装置及び運搬具(純額)	3,670	3,750
その他(純額)	1,179	1,239
有形固定資産合計	7,269	7,429
無形固定資産		
のれん	126	134
その他	329	328
無形固定資産合計	455	463
投資その他の資産		
その他	881	974
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	862	955
固定資産合計	8,587	8,848
資産合計	25,717	27,661

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,857	11,104
短期借入金	4,520	4,220
未払法人税等	15	41
賞与引当金	454	258
修繕引当金	1	2
その他	1,643	1,797
流動負債合計	16,492	17,425
固定負債		
長期借入金	4,000	4,048
退職給付引当金	1,145	1,146
役員退職慰労引当金	109	113
その他	426	368
固定負債合計	5,682	5,677
負債合計	22,175	23,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	1,743	2,745
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,242	4,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94	69
為替換算調整勘定	8	29
評価・換算差額等合計	103	99
少数株主持分	197	214
純資産合計	3,542	4,558
負債純資産合計	25,717	27,661

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	8,441
売上原価	7,806
売上総利益	634
販売費及び一般管理費	839
営業利益	△204
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	7
受取技術料	14
その他	15
営業外収益合計	39
営業外費用	
支払利息	52
その他	16
営業外費用合計	69
経常利益	△234
特別損失	
前期損益修正損	30
工場再編費用	15
たな卸資産評価損	584
特別損失合計	630
税金等調整前四半期純利益	△865
法人税、住民税及び事業税	13
法人税等調整額	28
法人税等合計	42
少数株主利益	4
四半期純利益	△912

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額 (百万円)
I 売上高	9,595
II 売上原価	8,156
売上総利益	1,439
III 販売費及び一般管理費	831
営業利益	607
IV 営業外収益	34
V 営業外費用	64
経常利益	576
VI 特別利益	10
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	587
法人税、住民税及び事業税	252
法人税等調整額	△15
少数株主損益	△22
四半期純利益	327